



まなびい掲示板

▶アクアビクス教室 全4回

とき ①7月16日(日) ②7月22日(土)
③7月30日(日) ④8月6日(日)
毎回 13:00~15:00
ところ 五日市小学校プール
内容 体に無理のかからない水中で、
楽しみながらの体力づくり
講師 伊藤礼子さん（一戸町）
対象 成人（定員20人）

▶初めての俳句教室①

とき 7月23日(日) 9:00~15:00
ところ 総合センター、上外川周辺
※バスで移動します。
内容 俳句の基本を学び、吟行を体験
します。
講師 小池美智子さん（盛岡市）
対象 小学生以上（定員20人）

▶木工教室 全4回

とき ①7月25日(火) ②7月26日(水)
③7月28日(金) ④7月30日(日)
毎回 18:30~21:30
ところ 深沢木工所松川原工場
内容 扉付きキャビネット製作
対象 成人（定員15人）
講師 外下政志さん（田の沢）
参加費 7,000円（材料代）
持ち物 軍手、金槌、のこぎり、差し金

※申し込み・問い合わせは、生涯学習課
（☎役場内線166）まで。

見事に勝利「国際チャレンジデー」

今年で十二回目の挑戦となつた国際チャレンジデーは五月三十一日に行われ、参加率六四・四％で見事、対戦相手の鹿児島県上屋久町に勝利しました。町内では、早朝から自治会や学校、事業所などで、ラジオ体操やウォーキング、軽スポーツなどが行われ、五千四百四十三人が参加。一方の上屋久町（人口約七千人）は、参加率六〇・四％という結果になりました。

ルールにのっとり、勝った葛巻町の旗が一週間、上屋久町役場の前のポールに掲げられました。特別対戦の北海道苫前町（人口約四千人）は参加率八九・一％で、こちらは残念ながら敗れましたが、参加率六一％以上が対象となる「金メダル」を十二年連続で獲得しました。さわやかな五月晴れの下、スポーツを通じて地域の連帯感が高まった一日となりました。



全校で「長縄跳び」に取り組んだ葛巻小学校の児童



子ども会など、さまざまなグループ活動に活用できる「レク・ゲーム」を学ぶ受講生

学習ボランティア養成講座を開設

地域に生かそう みんなの学び

町生涯学習推進本部（本部長 中村哲雄町長）では、今年度新たに、学習活動を支援する人材育成を目的とした「学習ボランティア養成講座」を開設しています。この講座は、「レクリエーションリーダー」と「読み聞かせボランティア」の二コースで、それぞれ六〜七回の講座が開催されます。

学習ボランティア養成講座

主な内容

★レクリエーションリーダーコース

- ①6月7日 レクの効用と活用法
- ②7月19日 ニュースポーツ
- ③7月23日 野外活動と危険管理
- ④10月8日 ネイチャーゲーム
- ⑤11月 昔遊び、手遊び
- ⑥2月 実技・まとめ

★読み聞かせボランティアコース

- ①7月23日 講話・子どもと本をつなぐもの
- ②8月9日 16ミリ映写機操作講習
- ③8月27日 講話・読み聞かせの方法
- ④10月 町外視察（図書館など）
- ⑤11月 わらべうた会
- ⑥11月18日 「読書のつどい」に参加
- ⑦12月 実技・まとめ

※対象は中学生以上。両コースとも参加者を募集中です。詳しくは、生涯学習課（☎役場内線166）にお問い合わせください。

六月七日に総合センターで行われたレクリエーションリーダーコースの第一回講座には、十七人が参加。コミュニケーションワークやアイスブレイクゲームの手法などを学びました。みんなが先生、みんなが生徒 日ごろの学習の成果を社会に生かすボランティア活動は、自分自身を高められるだけではなく、社会を活性化する活動として地域づくりの大きな柱になります。「みんなが先生、みんなが生徒」という学びの輪を広げ、豊かで活力ある町づくりにつなげましょう。

公民館図書室から

「はけたよ はけたよ」

かんざわとしこ 著



たつくんはね、ひとりでパンツがはけないんだよ。だって、ふらふらするんだもん。ほら、片足あげてみて…。

「わいもくん」たんじょうの巻

トータス松本 著



「わかった、やっとわかった!」そのとき、コアラの世界が輝きはじまりました。知ることの喜びを描いた絵本です。

「とけいのほん」

まついのりこ 著



どんぐりぼうやと時計の針が仲よく遊びながら「今、何時?」。時計の読み方を教えてくれる絵本です。

俳句の楽しみ④ 親子で楽しむ

先生の大声雨がやんちゃった 先生に叱られているときに「あつ、雨がやんだ。先生の大声にびっくりしたからかな」と思ってきた俳句です。



プールの中 みんなの声が水になる 「声の水になる」からは、プールでのにぎやかな声、水しぶきの音、先生の声、あらゆる声の水と混ざりあっているのが目に浮かんできます。

◆ 俳句は、どんな場所でも、どんなときでも「ことば」だけで遊べる楽しいゲームのようなものです。友だちと公園に出かけて、同じチューリップを眺めて俳句を作り、後でお互いに見せっこしたとき、まるで違った作品になっているのも不思議なことです。

◆ 「友だちの目には、チューリップがこんなふうに見えるんだ」ということも新しい発見です。子どもたちは「見る」楽しさから「見つける」楽しさを覚えていきます。

参考 蝸牛新社「小学生の俳句歳時記」